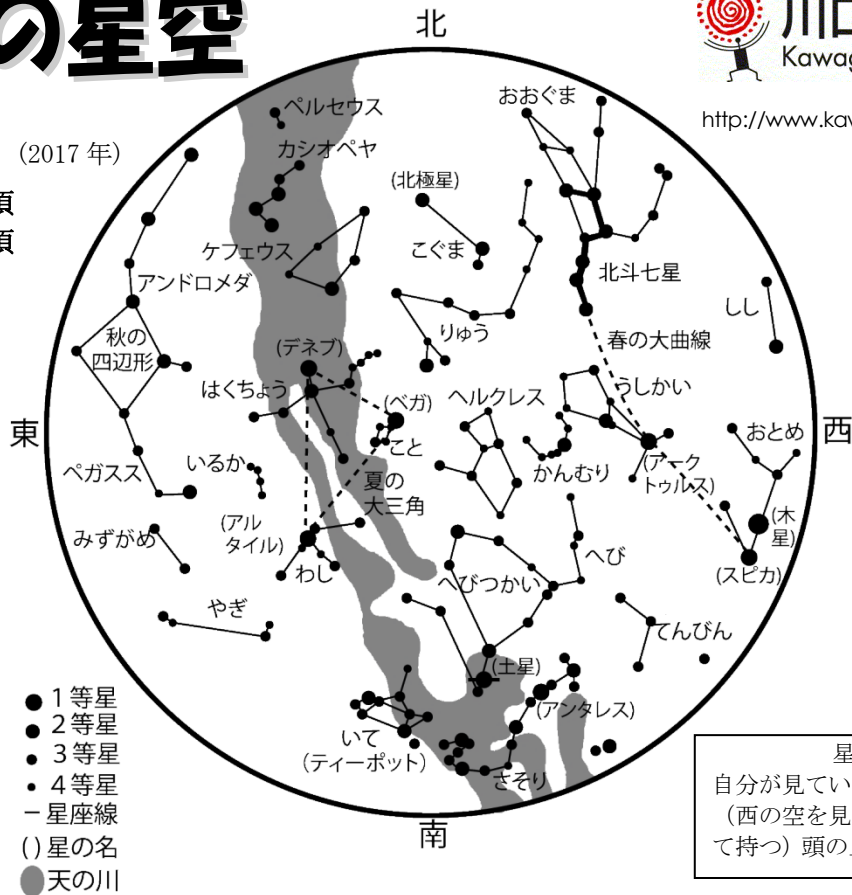


# 今月の星空

8月 (2017年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



月 齢 ○ 満月 8 日、● 下弦 15 日、● 新月 22 日、● 上弦 29 日  
惑星情報 金星 明け方 東 (オリオン座 → ふたご座 → かに座 -4 等級)  
木星 夕方 南西 → 西 (おとめ座 -2 等級)  
土星 夕方 南 (へびつかい座 0 等級)

## ★ 夏の星座が見ごろ

東の空高くには、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブを結んでできる、夏の夏の大三角が見られます。ここからさそり座にかけては、天の川が流れています。

さそり座の東側には、いて座があります。西洋では、この星座をティーポットに見立てることがあり、ここから立ち上がる湯気が天の川とされます。今年の夏休みは、ぜひティーポットと天の川を探してみてください。

## ★ 部分月食 (8 日) 欠け始め 午前 2 時 22 分、食の最大 午前 3 時 21 分 (食分 0.25)、 欠け終わり 午前 4 時 19 分

8 日の明け方に、月の約 1/4 が欠ける部分月食が起こります。川口で見られるものとしては 2015 年 4 月以来、2 年 4 か月ぶりです。月食は地球の影に満月が入ることによって欠けて見える現象です。肉眼で見られる現象なので、ぜひ観察してみてください。

## ★ ペルセウス座流星群が極大 (12 日深夜~13 日未明)

12 日から 13 日にかけて、三大流星群のひとつ、ペルセウス座流星群の活動が極大を迎えます。予想されている極大時刻は 13 日午前 4 時なので、一番多くの流星が見られるのは 12 日深夜から 13 日明け方になりそうです。

また、見ることができる流星の数に影響するのが、月明かりです。当日は下弦前の月が夜空を照らしていますが、この流星群は明るいものが多いので、月明かりの中でも比較的多くの流星を見ることができるとは思えません。

よりたくさんの流星を見るためには、街明かりが少ないこと、月明かりが直接目に入らないようにすること、周囲に高い建物がなく空全体を見渡すことができること、15 分以上観測を続けて暗い場所に目を慣らすことが重要です。